



『茶摘み』

作詞作曲不詳
文部省唱歌

夏も近づく 八十八夜
野にも山にも若葉が茂る
あれに見えるは 茶摘みじゃないか
あかねだすきに 菅の笠

日和つづきの 今日この頃を
心のどかに 摘みつつ歌う
摘めよ摘め摘め 摘まねばならぬ
摘まにゃ日本の 茶にならぬ



おじさんずの学び

校長 蒲谷 猛

「つながりました。」「自席からは入れましたが、スマホからは入れません。」「ENTERを押したら、送信されました。改行ができないのが不便です。」「自宅からも何とか入れました。」「トークが入った時の、ポップアップを設定しておくの良いようです。」初めてビジネスチャットツールを使った、いい歳のおじさんたち（厳密にはおばさんもいますが、みんな市内の校長）の試行錯誤の様子です。感染拡大防止のために、顔を合わせたの会議ができなくなったことから、市校長会役員でオンライン会議ができる状況を整えようとして取り組んだわけです。日ごろからビジネスチャットを使っている方からすれば滑稽でしょうが、戸惑いながらもみんなで新しいことを学んでいることにワクワク感というか、知る喜びを感じているというか、日々の閉塞感のなかのちょっとした楽しい時間でした。またまた5月31日までの休業期間延長となりましたが、家庭で過ごすことを強いられてしまっている子どもたちも、今の環境下でできる新たな「学び」を見つけてくれていたらいいと思います。「マイナスをプラスに変えて」という言葉も耳にし過ぎているようにも感じますが、確かに何か新しいことに取り組み、それを少しはモノにできるだけの時間はあるはず。「おじさんず」より遥かに柔軟性も探求心も優れている子どもたちの新しい「学び」を学校再開時の話題にできることを期待しています。

ところで、個人レベルではなく組織レベルで見ても、新型コロナウイルスの流行は、前述のオンライン会議や、配布物のメール添付など、今まで学校にはなかった「変化」を生み出しています。一方で、保護者あてメール配信の加入率が100%ではないなど、これまでの整備状況の課題も露呈してまいります。

「NEW NORMAL」という言葉もあるようですが、学校が再開したらすべて元に戻すのではなく、「変化」「課題」を精査しつつ、残すべきもの、整備すべきものをしっかりと見定めていきたいと考えています。もっと言えば、強いられた「変化」を原動力にして、その「変化」を定着させたり、さらに次の「変化」を創造したりしていきたいところです。

感染拡大の鈍化傾向も見られる現状から、学校再開の可能性も少しずつ高まってきているように思えます。学校が再開しても、イレギュラーな状況はまだまだ続くことでしょう。行事の見直し等も含め、様々な対策を考えてまいりますので、皆様方の一層のご理解とご協力をお願いいたします。

児童指導専任コーナー

【新型コロナウイルス感染症に対する

子どものストレスケアについて】

新型コロナウイルスについて、連日、メディアで大量の情報が流されています。また、感染拡大防止のため全校が休校になり、子どもたちの行動が制限されています。常に私たちは目に見えないウイルスに対するストレスにさらされ続けていると言えます。こうした状況の中で、子どもたちが抱えていると思われるストレスと、保護者ができる対応についてお伝えします。

<保護者ができる見守り>

①いつもと違う子どもの様子に目を向けましょう。

○行動面の変化

- ・ささいなことで怒ったり、攻撃的になったりする
- ・喧嘩が増える ・布団から出てこない
- ・今まで好きでやっていたことをやらなくなる
- ・小さな物音に驚く
- ・大人のそばから離れない など

○からだに現れる変化

- ・おねしょをする、頻尿になる
- ・寝つきが悪い、夜中に目が覚めてしまう
怖い夢を見る
- ・食欲がない、過食になる
- ・頭痛や腹痛、だるさ、身体の痛みを訴える
- ・赤ちゃん返りをする など

○気持ちに現れる変化

- ・甘えたくなる ・心配になる
- ・元気がなく、笑わない ・悲しくなる
- ・少しのことで泣いてしまう
- ・いつもと比べて喜怒哀楽が激しくなる
- ・自分を責める ・何もかも悲観的に捉える など

もし以上のような反応が見られたら、やさしく話を聞いてみてください。

子どもは大人の愛情と目を向けられることを必要とします。今まで以上に時間をかけ、接してください。子どもの訴えを聞いて、やさしく話しかけ、安心させてあげましょう。また、声かけは、「大丈夫？」と聞くより、生活の質について聞いてあげましょう。「ぐっすり眠れた？」「朝ごはんおいしかった？」などです。ストレスは「生活の質の低下」に現れます。可能なら、安全な環境で遊びやリラックスできる機会を作ってみましょう。多くの場合、このような心理的な反応は、時間とともに改善しますが、睡眠や食欲の問題が長時間続く、行動上の問題が顕著であるなどのような場合には、養護教諭、スクールカウンセラー、児童支援専任などに相談するようにしてください。

②規則正しい生活を心がけましょう。

閉塞感のある生活が続くと、不安やイライラが募りやすくなります。家庭内のイライラが増幅しないよう、適度な運動、発散できるような楽しい活動、リラックスできるような時間を持ちましょう。

③非常事態ですので、叱らずにいつもより大目にみてあげることも大切です。

④正しい情報を公的なホームページなどで得るようにしましょう。

[新型コロナウイルス感染症に関する情報について
(横浜市)]

<https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/koho-koch/o/koho/topics/covid-19/>

また、特に子どもはテレビやネットなどから過度で過激な情報の影響を受けやすいので、情報収集に振り回されないことが大切です。同じような情報（刺激）に繰り返しさらされることで気持ちが不安定になることが知られています。

⑤保護者ご自身がよい体調を維持できるように努めましょう。

子どもの見守りと仕事の負担、経済的影響、活動の制限など保護者の皆様にとっても、様々なご事情の中で過ごされていることと思います。ストレスによって、気持ちの変化や体調の変化などが起こり、日常生活に支障が出る場合があります。このような反応が普段よりも強く出た場合は、休息をとり、必要に応じて専門機関に相談しましょう。ご家族はもちろん、親戚、友人、地域などの社会的つながりを感じられていると、ストレスを生じにくく、また乗り越えやすいと言われています。

また、子どもたちに関する相談窓口は以下の通りです。お気軽にご相談ください。

児童・保護者相談窓口 原小学校 045-362-2020
養護教諭 徳永久美子・榊原 梓
児童支援専任教諭 遠藤佳帆里
特別支援教育コーディネーター 鍋倉 養

お子様の担任からも、児童の学習や生活の様子把握のために、電話連絡を行います。

24時間子供SOSダイヤル 0120-671-388

<https://www.mext.go.jp/ijime/detail/dial.htm>

- ・一般教育相談 045-671-3726
- ・学校生活あんしんダイヤル 045-663-1370
- ・瀬谷区子ども家庭支援相談 045-367-5747
- ・よこはま子ども虐待ホットライン 0120-805-240

○4月の行事から

【入学式 4月6日(月)】

今年度は145名の元気いっぱいの1年生が入学しました。校長先生や担任の先生からのお話を一生懸命に聞いていた1年生。学校生活に早く慣れて、たくさん友達ができることを願っています。

【始業式・着任式 4月7日(火)】

今年度は全校児童973名でスタートしました。新しいクラスの友達や担任の先生との初顔合わせ。児童の様子や表情からは、新しい学年への期待感や意気込みが感じられました。着任した職員の紹介も行われました。

○お知らせ・お願い

【YICA・国際理解教室の先生が着任しました】

・YICA講師(AET)アキラ ナカイ先生

アメリカ出身です。1～2年生は年間15時間、3～4年生は30時間、5・6年生は年間65時間の学習が予定されています。英語に親しみ、コミュニケーション力を高めていきます。

・YICAとは？

身近で簡単な英語によるコミュニケーション活動を通して、英語に親しみ、児童の英語への興味・関心や意欲を育てます。また、相手の立場を尊重しつつ、自分の考えや意思を表現できるような自己表現力や積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成することもねらっています。

・国際理解教室講師(IUI)

アカツカ ガブリエル先生

フィリピン出身です。フィリピンと日本の生活や文化の違いを、英語を通して学習します。年間4～5時間の学習が予定されています。

・国際理解教室とは？

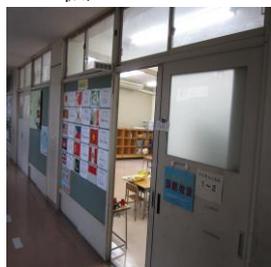
英語での簡単なコミュニケーションを通して、外国の文化や習慣に触れたり、日本の文化や習慣と比較したりすることで、児童の気付きを引き出すことをねらいとしています。IUIとの触れ合いを通し、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成します。

【国際教室のお知らせ】

第一校舎二階、図書室の隣に国際教室ができました。日本語指導が必要な児童に応じて、日本語指導、教科指導、生活適応指導などを行います。ご質問、ご相談などありましたら、ご連絡ください。

◎副校長 米山 明央 または

◎国際教室担当教諭 小鹿 楓 まで



【学校におけるセクシャル・ハラスメント相談窓口】

学校では、わいせつやセクハラに関する相談窓口を設置しています。窓口があることをお子さんにもお伝えください。

◎児童・保護者相談窓口 ◎教職員相談窓口
養護教諭 徳永 久美子 副校長 米山 明央
榊原 梓

児童支援専任

遠藤 佳帆里

※なお、教育総合相談センターの一般教育相談も、セクハラ相談窓口として利用できます。

◎教育総合相談センター※月～金 9:00～17:00
TEL 671-3726

【5月のカウンセリング】

5月の学校カウンセラーの来校日は、1日(金)[AM]、8日(金)[AM]、15日(金)[全日]、22日(金)[全日]、29日(金)[全日]です。お子さんの成長や学校生活をめぐっての悩みや疑問がありましたら、気軽にご相談ください。なお、感染症拡大防止のため、来校が不安な方は、休校期間中に限り、電話での相談も受け付けています。学校(045-362-2020)の副校長又は児童支援専任までご連絡ください。

【メール配信の登録は完了されていますか？】

4月12日(日)に、一斉メールテストを実施しました。もし、テストメールが受信できない時は登録が完了していないことが考えられますので、再度、プリントを確認してください。なお、遠足や校外学習等の帰校時刻については、予定通り帰校する場合は配信せず、交通事情の遅れ等で予定より大幅に異なる場合のみ配信します。ご理解のほど、よろしくお願いいたします。

【学校納入金について】

例年、学校納入金の前期引き落としを5月10日に行っておりますが、ゆうちょ銀行のシステム変更のための初期設定が間に合っておりません。そのため、前期引き落としの日程が未定となっております。決まり次第お知らせいたしますのでご了承ください。

【原小オリンピック延期】

今年度の原小オリンピックは9月19日(土)に延期になりました